

1999年1月29日
株式会社 クラレ

新規水溶性樹脂“RSポリマー”の事業展開について

当社は独自の合成技術を駆使して新規水溶性樹脂“RSポリマー”を開発し、既に中条工場（新潟県中条町）においてパイロット設備が稼働中ですが、本生産設備を岡山工場に建設し、2000年1月から生産を開始します。

1. ポバール、<エバール>とは

ポバール（ポリビニルアルコール樹脂）は、当社が世界で初めて工業化した水溶性合成樹脂です。水溶性、接着性、乳化性などの特性を持ち、繊維用糊剤、紙加工剤、接着剤などに幅広い用途を持ちます。当社はポバールで世界の約30%のシェアを持つトップメーカーです。

また<エバール>（EVOH樹脂）も当社が世界で初めて工業化した機能性樹脂です。酸素・炭酸ガス等の気体遮断性（ガスバリアー性）が非常に優れており、この特性を生かした食品包材用途、非食品用途に使用されています。当社はEVOH樹脂市場において世界の約70%のシェアを占めています。

2. “RSポリマー”とは

ポバールとEVOH樹脂の特性を兼ね備えた水溶性樹脂で、次の～のような特性を有しており、広範囲な用途展開が可能な新規樹脂です。

耐水性・ガスバリアー（気体遮断）性

“RSポリマー”は水に溶けますが、一旦乾いて固まると耐水性、バリアー性を持ちます。例えば“RSポリマー”を使用したエマルジョン（例 木工用接着剤）で接着した製品は、温水につけても剥がれないレベルに耐水性が向上します。また“RSポリマー”の水溶液を紙やフィルムなどに塗布すると、耐水性に加えオイル、有機溶剤、各種ガスなどのバリアー性能を与え、改質、性能アップに大きく寄与します。

低温における水溶液の粘度安定性

水に溶かして使用する場合、水溶液の経時的粘度変化（ゲル化問題）から開放されるなど、使用時の作業性が向上します。

溶融成形性

溶融性と水溶性を併せ持つことから、水溶性を必要とする成形物用途（例フィルム、シート、インジェクション容器など）への展開が可能となります。

生分解性

生分解性が良好なことから排水規制の強化、負荷増大に対し容易に対処可能で、特に繊維糊剤などの用途において効果を発揮します。

3. “RSポリマー”の事業計画

(1) 現有のパイロット設備

立地 : 中条工場 (新潟県中条町)
生産能力 : 年産 800トン
生産開始時期 : 1996年2月

(2) 本生産プラント

立地 : 岡山工場 (岡山市海岸通1-2-1、工場長:取締役 中野達也)
生産能力 : 年産 10,000トン
建設開始時期 : 1998年11月
稼働開始時期 : 2000年1月
設備投資額 : 約10億円

(3) 販売構想

現時点では国内販売が先行していますが、本設備の稼働開始次第、大きな潜在需要が見込める輸出市場での拡大を図るべく、海外へのサンプルワークを推進しています。

販売目標	2000年度	10億円
	2002年度	30億円
	2005年度	50億円

以上